

令和 7 年 9 月 29 日県土整備常任委員会

◆宇野裕 委員     まず最初に、これまでも常任委員会に取り上げ、また、先ほど部長の御挨拶の中にもありました新湾岸道路についてお尋ねをしたいと思います。

本会議の一般質問でも質疑がありましたが、本年 7 月より、地域とのコミュニケーション活動が拡充され、実施していると伺っております。概略ルートや構造の案が示され、早期の計画の具体化に向け機運が高まる中、県民の皆様の反応が気になるところであります。

そこでお伺いをいたします。現在のコミュニケーション活動の実施状況について教えてください。

◎説明者（近藤道路計画課長）   道路計画課、近藤でございます。

新湾岸道路につきましては、地域の理解や協力を得ながら道路計画を策定するため、本年 7 月から沿線住民や企業などへの情報発信や意見聴取を行っているところです。また、8 月 19 日から 10 月 5 日まで、全 27 会場でオープンハウスやパネル展を開催中でありまして、さらに今回は沿線への広報紙の全戸配布を行い、拡充し実施しております。パネル展やオープンハウスの来場者数は現時点で既に前回は上回っており、多くの方々とのコミュニケーションが図られると認識しております。引き続き丁寧な合意形成にしっかりと努め、計画の早期具体化に向け取り組んでまいります。

以上でございます。

◆宇野裕 委員     ありがとうございます。引き続き、多岐にわたる関係者との丁寧な合意形成にしっかりと努めていただいて、計画の早期具体化に向け取り組むことを強く要望をいたします。

次に、これも道路問題でございますけれども、銚子連絡道路の整備についてお伺いをしたいと思います。

これまでも、この銚子連絡道路についての問題、何度か取り上げさせていただいて、その意義についてもお話をさせていただきました。重複する点を御容赦をいただきたいと思います。銚子連絡道路は、圏央道の整備効果を山武・東総地域に広く普及させ、県内外との交流や連携を強化し、地域経済の活性化や防災力を向上させる大変重要な道路であると認識しているところでございます。令和 4 年度に事業化された匝瑳市から旭市間については、これまでに調査、設計が進められるとともに、全区間を対象に境界立会いが実施されていると伺っているところでございます。匝瑳市から旭市間が開通すると、第 3 次救急医療施設である旭中央病院へのアクセスが格段に向上するなど、地域の救急医療活動の支援の面からも大変重要な役割が期待されており、その進捗状況が大変気になるところであります。

そこでお伺いをいたします。銚子連絡道路の匝瑳市から旭市間の取組状況をお伺いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

◎説明者（齊藤道路整備課長） 道路整備課の齊藤でございます。

銚子連絡道路の匝瑳市から旭市までの13キロメートル区間につきましては、これまでに道路や橋梁の予備設計が完了するとともに、境界立会いを実施し、用地実測図を作成しているところでございます。現在、その成果を基に道路区域の変更手続など用地取得に向けた準備を進めているところであり、引き続き地元の皆様の御理解と御協力をいただきながら、早期に用地取得に着手できるよう事業を推進してまいります。

以上です。

◆宇野裕 委員      ありがとうございます。

次に、ただいまの御答弁に続いて、関連して質問をしたいと思います。匝瑳市から旭市間において、用地取得の着手に向けて準備が進められているということがよく分かりました。ありがとうございます。一方で、匝瑳市から旭市間は事業延長も長いため、関係する地権者の数が大変多いと聞いております。今後、事業を推進していくためには、用地取得を確実に進めていくことが必要であると思っております。

そこでお伺いをしたいと思います。銚子連絡道路の匝瑳市から旭市間の用地取得について、どのように取り組んでいくのかお尋ねします。

◎説明者（齊藤道路整備課長） 道路整備課でございます。

銚子連絡道路の匝瑳市から旭市間につきましては、事業延長が13キロメートルと長く、用地取得の面積も多いことから、用地取得を加速させる取組が必要であると考えております。現在、用地取得を加速させる取組といたしまして、千葉県土地開発公社や民間事業者への用地補償業務等の外部委託、地元市への協力要請等を検討しているところでございます。一部の地権者からは、既に用地交渉の依頼をいただいているところであり、準備が整い次第、用地取得を進めていくこととしております。

以上です。

◆宇野裕 委員      ありがとうございます。御答弁ありがとうございました。匝瑳市から旭市間の早期整備のためには、何といたってもこの用地取得が重要であります。県の職員の皆様だけではマンパワーとして限界があるのではないかなと常々思っているところでございます。そのため、先ほども御答弁にありましたように、地元の市の協力や、千葉県土地開発公社の皆さん、それから民間事業者へのアウトソーシングなど積極的に活用して、用地取得の推進に取り組んでいただきたいと強くお願いをしたいところでございます。まずは用地買収をしっかりと行っていただくとともに、銚子連絡道路は地元として早期の整備を望んでいることから、ある程度

まとまった用地が確保できた箇所から順次工事を行い、早期完成を目指していただくよう要望するところでございます。よろしくお願いをいたします。

最後に、これも銚子連絡道路関連であります。この銚子連絡道路の有料道路区間について伺いをしたいと思います。

銚子連絡道路の1期区間は、有料道路として平成18年に供用が開始されてから約20年が経過をいたしました。この1期区間は圏央道の松尾横芝インターチェンジと直結し、立体で交差する県道成田松尾線とは直接接続されず、乗り降りができない構造となっております。令和8年度の県央道の県内区間の全線開通時には、このインターチェンジは全方向からアクセスが可能となるフルインターになるものの、交差する県道成田松尾線と銚子連絡道路との乗り降りができないと伺いました。この背景には、新たに県道と接続した場合、料金所を追加して設置するなど料金徴収方法について課題があると私も承知しているところであります。しかしながら、今後成田空港の第2の開港や、さらには銚子連絡道路の3期区間の整備が進むことで、交通需要がますます高まっていくことが予想され、将来的には銚子連絡道路の名称、つまり、銚子連絡道路という名前がついておりますので、銚子方面への県道との接続が必要だと考えているところであります。

そこでお伺いをいたします。銚子連絡道路と県道成田松尾線との接続について、今後どのように進めていくのか、よろしくお願いをいたします。

◎説明者（近藤道路計画課長） 道路計画課です。

銚子連絡道路と県道成田松尾線の交差部につきましては、将来において接続ができるよう、あらかじめ必要な用地を確保しているところです。今後、圏央道の全線開通や成田空港の第2の開港などによる交通需要の変化や利便性の向上などの観点で踏まえ、整備に向けた検討を進めてまいります。

◆宇野裕 委員      ありがとうございます。最後、要望であります。

必要な用地が確保されているということを伺いまして、大変安心したところであります。ぜひ前向きに検討を進めていただきますようお願いをして、質問を終わります。ありがとうございました。